

市町村名	本部町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	ハブ咬傷防止事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-オ		
担当部課名	健康づくり推進課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	危険生物対策の推進		
事業内容	地域住民や観光客の咬傷事件を予防するため、台湾ハブ等の捕獲器設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、安心・安全な地域・観光地づくりを目指す。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	12,573	13,914	14,086	15,751	16,084	
		(b) 予算現額	13,279	13,196	14,086	15,584	17,033	
		(c) 増減額 (b-a)	706	-718	0	-167	949	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	13,279	13,196	14,086	15,584	17,033	
	B. 執行済額		10983	13144	14113	15,238	16,204	
	うち交付金充当額		8786	10515	11268	12,190	12,963	
	次年度繰越額		0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		82.7%	99.6%	100.2%	97.8%	95.1%	
予算の状況の説明		会計年度職員の報酬改定に伴う増額が生じたため、報酬等949千円を増額した。 不用額829千円については、捕獲器設置作業等に使用する軽トラックの燃料費が見込みより下回ったことが主な要因である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ハブ捕獲器を町内850カ所に設置	目 標	(550カ所)	(650カ所)	(750カ所)	(850カ所)		
		実 績	550カ所	650カ所	750カ所	850カ所		
		目 標	()	()	()	()		
実 績								
達成 状 況 説 明	・台湾ハブ等の捕獲数の多い地域や、台湾ハブ等の目撃情報や生息が懸念されている地域を重点的に、ハブの捕獲器を新たに100基設置した。(750基から850基へ増設)							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	ハブによる咬傷被害件数0件	目 標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()	
		実 績		2件	8件	0件		
	【参考指標】 ハブ年間捕獲数	目 標	()	(1,500匹)	(1,400匹)	(1,700匹)	()	
		実 績		1,436匹	1,751匹	1,955匹		
進 捗 状 況 説 明	・町内において台湾ハブ等の捕獲により、咬傷被害は0件となり、目標を達成することができた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・タイワンハブ等の捕獲数が令和4年度1,751匹から令和5年度1,955匹と204匹増加した。 ・咬傷被害が起こらなかった要因としては、タイワンハブ等捕獲の取り組みに加えて、広報誌による注意喚起によってハブが生息・侵入しにくい環境を整える等、町民の咬傷被害防止に関する取り組みの意識向上が考えられる。	・捕獲数が増加傾向にあるため、目撃や捕獲があった場所周辺への更なる捕獲器増設を行い、個体数の減少を図る必要がある。 ・今後も引き続き、咬傷被害を予防するため注意喚起を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・引き続き、町のホームページや町広報誌等で注意喚起を行い、咬傷被害防止を図る。 ・ハブ捕獲器を850基から950基に100基増設し、目撃や捕獲数の多い地域へ重点的に設置することにより個体数の減少を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>19,219</td><td>16,204</td><td>12,963</td><td>3,241</td><td>3,015</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	19,219	16,204	12,963	3,241	3,015
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
19,219	16,204	12,963	3,241	3,015										
本部町 16,204千円	報酬 7,960千円	作業員 7,960千円	〔 会計年度任用職員6人 〕											
	〔 ほか、ハブ売上収入(交付対象外経費) 2,681千円 〕		〔 会計年度任用職員6人 〕											
	職員手当等 2,077千円	作業員 2,077千円	〔 会計年度任用職員6人 〕											
	共済費 1,862千円	作業員 1,862千円	〔 会計年度任用職員6人 〕											
	旅費 52千円	作業員 52千円	〔 会計年度任用職員3人 〕											
	需要費 3,531千円	〔 光熱費(電気、水道) 285千円 消耗品(捕獲器、マウス飼料等 2,779千円 燃料費(車両の燃料) 467千円 〕												
	委託料 36千円	(有)丸良電建工業 36千円	〔 浄化槽保守点検委託 〕											
	使用料及び賃借料 686千円	〔 車両リース(3台) 627千円 冷凍庫リース 59千円 〕												
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・作業員は書類選考及び面接により選定しており、妥当であると考える。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		・予算規模については、事業内容に見合っており適正な規模であったと考えている。										
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		・費目・使途についてはハブ捕獲で使用するマウスの飼料費や捕獲器購入など、事業目的達成の観点から必要なものである。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	伝統興行観光化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用するため、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	30,761	103,082	115,426	4,893	4,893
		(b) 予算現額	30,761	93,256	72,396	0	4,893
		(c) 増減額(b-a)	0	-9,826	-43,030	-4,893	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	30,761	93,256	72,396	0	4,893
	B. 執行済額		30057	88574	72395	0	4,266
	うち交付金充当額		24046	70859	56320	0	3,412
	次年度繰越額		0	82256	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.7%	95.0%	100.0%	#DIV/0!	87.2%
予算の状況の説明		不用額については、実績に伴う減額及び対象外経費であるチケット収入739千円の減によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	伝統興行の実施(2回)	目 標	(1回)	(2回)	()	(2回)	
		実 績	0回	0回		2回	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	伝統興行の実施については、目標どおり2回イベントを開催することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	伝統興行来場者数	目 標	()	(742人)	()	(742人)	()
		実 績		0人		746人	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	2月に開催したイベントでは、403人の来場者があり、3月に開催したイベントについては、343人の来場があった。2回のイベントでの合計来場者数は、746人となり達成率は100%であった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・イベント開催日の2日とも天気恵まれた他、SNSを使った広告と県内新聞を活用した広報を行うことで、若い人からお年寄りまで幅広く周知できたことが目標達成の要因と考えられる。	・更なる入場者数の増加に向け、町内ホテルや県内観光協会等への周知など情報発信を強化する。
今後の取り組み方針		
・団体客の確保については、旅行代理店に営業活動を行い、より多くの代理店にツアーが組めるように取り組む他、個人旅行者の確保については、引き続きSNSでの告知を続け、宿泊施設等で情報が受け取れる仕組み作りや各種メディアを通じて広報活動を行い、個人客の確保に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,006</td><td>4,266</td><td>3,412</td><td>854</td><td>740</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,006	4,266	3,412	854	740
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,006	4,266	3,412	854	740										
本部町 4,266千円 委託料 4,266千円 委託料 4,266千円 対象外経費:740千円 (イベント実施に伴うチケット収入)														

資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○イベント実施の委託先は、当該イベントに精通した地域団体を選定する必要があり妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、必要な金額が計上されており、不用額については、イベントで不要となって部分であり妥当である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、精算段階で検査を行い事業に即したものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	もとぶマイクロツーリズム推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ウ)	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	令和4年度～6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容	本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内するガイドツアーの企画・運営等を行う事務局員を配置し、観光ガイドの養成とスキルアップ研修を行い、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,635	7,635			
		(b) 予算現額	7,635	7,635			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	7,635	7,635			
	B. 執行済額		6,564	6,485			
	うち交付金充当額		5,251	5,188			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		86.0%	84.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		不用額1,150千円については、人件費や消耗品、ガイドおよび講師謝金の減などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度		
	町観光協会へ補助金の支出 1件/年	目 標	(1件)	(1件)	()	()	
		実 績	1件	1件			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・町観光協会への補助により、ガイド団体事務局運営にかかる人員の配置と運営体制を整備し、ガイドツアールートの策定やモニターツアー、ガイドのスキルアップ研修を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	町認定ガイドの養成	目 標	()	(15人)	(15人)	()	()
		実 績		16人	0人		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・既存認定ガイドの体制確保と町内ガイドツアールートの策定を重点的に行ったため、新規の観光ガイド養成講座を実施しなかった。ガイドポイント毎の情報を整理するなど、ガイドツアールートの充実を図った。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(町認定ガイドの養成) ・令和2年度及び令和4年度に取り組んだガイド養成と認定ガイドによるガイドルート策定活動により、地域住民が主体となったマイクロツーリズム推進の機運を高めることにつながったが、事務局・ガイド間の連携体制の確立とガイドルートの充実が遅れたため、成果目標が達成できなかったと考えられる。	(町認定ガイドの養成) ・認定ガイド人数の増加とともに、新規認定ガイドがルート策定やモニターツアーの実施に参画しやすい体制の構築を図る。
今後の取り組み方針		
(町認定ガイドの養成) ・認定ガイドには継続的なスキルアップ研修を実施し、モニターツアー実施による既存ルートの磨き上げと新規ルートの策定を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,206</td><td>6,485</td><td>5,188</td><td>1,297</td><td>721</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,206	6,485	5,188	1,297	721
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,206	6,485	5,188	1,297	721										
本部町 6,485千円 補助金 6,485千円 (一社)本部町観光協会 6,485千円 もとぶマイクロツーリズム推進事業補助金 ・事務局員の配置 ・ガイドルートの策定 ・モニターツアーの企画・運営 ・スキルアップ研修の実施 ほか、観光協会負担分 (交付対象外経費)														
資金使途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地域住民主体のガイド団体運営には観光協会が適しており、妥当であったと考えている。 ○受益者である観光協会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、積算段階で一部検討が必要であるものの概ね目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	もとぶ観光地クリーンアップ事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和4年～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人と環境にやさしいまちづくりの 推進		
事業内容	魅力的な観光地としての景観美化を図るため、国道及び県道・町道の除草作業などを実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		(a) 当初予算額	29,079	35,448			
		(b) 予算現額	15,602	35,696			
		(c) 増減額(b-a)	-13,477	248			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	15,602	35,696			
		B. 執行済額	15225	34678			
		うち交付金充当額	12180	27742			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	97.6%	97.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	計画通り適正に執行できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光地、国道及び県道・町道を主とした除草作業等を実施	目 標	()	()	(国・県・町道の 除草作業)	(国・県・町道の 除草作業)	
		実 績			観光地、国・県・町道の除草作業を実施	観光地、国・県・町道の除草作業を実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	国道、県道については県所管の管轄になっており除草作業のスケジュール等を確認し取組んだ、また、本町の観光地や町道については随時状況把握を行い除草作業等を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	()	()
		実 績		84%	86%		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	本町へ訪れる観光客等に対しアンケートを実施し、観光地や歩道等の景観形成について「雑草等による障害がなく安全・安心環境や観光地としての景観形成がなされているか」で86%の回答を得た。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・作業員は事業初年度確保できなかった雇用を確保でき、14名体制で美化作業にあたっている。 ・国道、県道における除草作業においては、管轄の沖縄県との早期からの調整が必要である。 ・作業員の安全性を図るため、内部での勉強会を実施し安全性を保っている。作業員の作業の向上を図る。	・沖縄県との連携を図り、年間の作業等のスケジュール把握を行い重複しないように実施体制を整える。 ・今後は外部の講習等を実施し、作業の安全性や作業向上を図る。
今後の取り組み方針		
今後も安全・安心、快適な観光地としての環境整備を図るため、関係機関との連携を図り継続的に実施を行っていく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34,895</td><td>34,678</td><td>27,742</td><td>6,936</td><td>217</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	34,895	34,678	27,742	6,936	217
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
34,895	34,678	27,742	6,936	217										
本部町 34,678千円 報償費 23,552千円 職員手当 4,569千円 共済費 2,686千円 旅費 374千円 需要費 2,262千円 使用料及び賃借料 945千円 備品購入費 287千円 作業員 23,552千円 作業員 4,569千円 作業員 2,686千円 作業員 374千円 燃料費・草刈機替刃等 2,262千円 車両リース(5台分) 945千円 草刈等備品 287千円 〔会計年度任用職員述べ15人〕 〔会計年度任用職員述べ15人〕 〔会計年度任用職員延べ6人〕 〔会計年度任用職員延べ11人〕 〔消耗品費:1,106千円 燃料費:1,156千円〕 〔車両リース:945千円〕 〔草刈機4台〕														
資金の流 点、費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・作業員は書類選考及び面接により選定しており、妥当であると考える。 ・予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ・費目・使途については除草作業等に必要な備品購入や消耗品購入であり、事業目的達成の観点から必要なものである。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	花いっぱい運動推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア		
担当部課名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進			
事業内容	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,036	4,893	0	0	7,964	
		(b)予算現額	7,920	4,888	0	0	7,964	
		(c)増減額(b-a)	-116	-5	0	0	0	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	7,920	4,888	0	0	7,964	
	B.執行済額		7920	4888	0	0	7,111	
	うち交付金充当額		6336	3910	0	0	5,689	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	89.3%	
予算の状況の説明		計画どおりに花木の植付を行い、事業は適正に執行できた。不用額の853千円は出来高払いによるもの。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・プランターへの植付＝1,185基	目 標	(1,191基)	()	()	(1,185基)		
		実 績	1,191基			1,185基		
	・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスの植付	目 標	(植栽マスの植付実施)	()	()	(植栽マスの植付実施)		
		実 績	植栽マスの植付実施			植栽マスの植付実施		
達成状況説明	町内各種団体や町民ボランティアから成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」により、国道及び県道沿い等に設置したプランター1,185基や観光アクセス道路沿い植栽マスへ年2回花木の植付を行い、活動目標を達成することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	()	()	(80%)	()	
		実 績				77%		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	今年度はWEBアンケートを実施した。「観光地周辺に展示されている草花や花木に対する満足度をお答えください」という設問に対して、77.2%が満足との回答が得られた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・アンケート調査において、本事業を「継続または拡大した方が良い」との回答が得られたが、「観光客向けとしては地味」という回答もあったため、インパクトのある沖縄らしい花木を植えるなどの工夫が必要。	・観光客の目を引く花木を確認する。設置場所も検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
・今後も継続的な取り組みを推進するため、植える花木の工夫や設置場所を検討する必要がある。また、町広報誌やホームページを活用し情報発信することで、花いっぱい運動推進事業への関心を高めてもらい、今後の取り組みに生かす。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,111</td><td>7,111</td><td>5,689</td><td>1,422</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,111	7,111	5,689	1,422	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,111	7,111	5,689	1,422	0										
本部町 7,111千円 委託料 7,111千円 一般社団法人 本部町観光協会 7,111千円 花いっぱい運動推進事業業務委託 (プランター1,185基、観光アクセス道路沿い植栽 マスへ花の植付等)														
資金 使途の 流れ、 点検、 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は観光地の観光形成として観光客の多く集まる場所や、人目につきやすい場所を多く把握しており、沿道美化活動の実績がある本部町観光協会を主体としており妥当と考える。地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定により随意契約としている。 ○積算については、複数者見積によるものとなり妥当と考える。 ○費目・使途に関しては額の確定時において確認を行い適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	本部町観光誘客周遊バス実証事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和5～令和7年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	人と環境にやさしいまちづくりの 推進	
事業内容	町内の宿泊施設、観光施設を周遊バスで結び、二次交通の整備による観光客の移動手段を確保し、観光誘客に繋げるため、町内の宿泊施設、観光施設及び商業施設等を結ぶ周遊バス運行に向けた実証実験を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況		R5年度	R6年度	R7年度		
		(a) 当初予算額	30,036				
		(b) 予算現額	30,036				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	30,036					
	B. 執行済額	29920					
	うち交付金充当額	23936					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	99.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	計画通りに適正に執行できた。減額については、入札残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度		
	周遊バスの運行	目 標	(周遊バスの 運行)	()	()	()	
		実 績	周遊バスの 運行				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	令和5年7月1日から令和6年2月4日までの219日間、本町のホテルや観光施設を結ぶ区間を二次交通の整備により観光客の移動手段を確保するため、周遊バスを運行した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (RO年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)
	周遊バスの利用者数	目 標	()	(13,400人)	()	()	()
		実 績		12,240人			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	利用の実績としては、期間中12,240人の観光客が利用した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	8月の乗車数は約3千人であり、ほかの月は8月に比べ半分の乗車数だった。	周遊バスの運行について、周知強化を行い8月以外の月の乗車数を増やす。
今後の取り組み方針		
今後は、観光客や町内の観光施設の意見をくみ取り、周遊バスの運行改善を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>29,920</td><td>29,920</td><td>23,936</td><td>5,984</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	29,920	29,920	23,936	5,984	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
29,920	29,920	23,936	5,984	0										
本部町 29,920千円 委託料 29,920千円 株式会社国建 29,920千円 本部町観光誘客周遊バス実証事業委託業務														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、地方自治法第234条に係る一般競争入札により選定しており、妥当である。 ○事業内容に沿った予算規模であり、妥当である。 ○実績において必要なもののなかについて検査、確認し適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	もとぶブランド牛改良促進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和４～６年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化	
事業内容	町内の肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、採卵用優良雌牛の導入及び人工授精等の支援を行う。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(7 年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,347	1,737			
		(b) 予算現額	16,297	2,772			
		(c) 増減額 (b-a)	-3,050	1,035	0		
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	16,297	2,772	0		
	B. 執行済額		12919	2708			
	うち交付金充当額		10335	2166			
	次年度繰越額						
	執行率 (％) (B/A)		79.3%	97.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		世界情勢の影響を受け、飼料・肥料・電気代等、飼養に係る経費等が当初の想定よりも増大したため、委託費を増額した。また、備品価格の上昇により購入費用を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度		
	人工受精卵移植の実施	目 標	()	(人工受精卵移植の完了)	()	()	
		実 績		—			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	前年度に採卵用優良母牛の導入と安定に期間を要したため、人工授精を行う時期に遅れが生じた。また、子宮等の関係器官の発達・成熟を促すため、採卵開始前に出産を経験させる必要が生じたため、受精卵移植の開始時期は次年度に持ち越しとなった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R7年度)
	人工受精卵移植費の完了	目 標	()	()	(受精卵移植の完了)	()	()
		実 績			—		
	【令和7成果目標】 本事業で生産された子牛のセリ平均価格がその他の子牛のセリ平均価格を上回ること	目 標	()	()	()	()	子牛価格: 平均価格以上
		実 績					
	進捗状況説明	前年度に採卵用優良母牛の導入と安定に期間を要したため、人工授精を行う時期に遅れが生じた。また、子宮等の関係器官の発達・成熟を促すため、採卵開始前に妊娠・出産を経験させる必要が生じたため、受精卵移植の開始時期は次年度に持ち越しとなった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	導入牛2頭のうち1頭について、採卵に向けて、医師の指導を仰ぎながら体質改善に取り組む経過を見守っている。採卵に向けた取り組みが長引くほど、飼養者の負担は大きくなり、採卵開始の時期も遅れることとなる。	引き続き、獣医師の指導を仰ぎながら、導入牛の治療を継続する。また、県畜産試験場や、家畜改良協会等外部機関の助言を取り入れる機会を設けることで導入牛の飼養管理環境を整える。
今後の取り組み方針		
導入牛2頭のうち人工授精が成功した1頭については、次年度より受精卵の採卵及び配布を開始する。受精卵配布計画を策定し、町内繁殖牛農家へ順次配布を行ない、効率的に牛群の改良を行っていく。町職員による定期的な巡回を行うとともに、県畜産試験場や、家畜改良協会等外部機関の助言を取り入れる機会を設けることで飼養管理環境を整え、優良雌牛からの安定した採卵が行えるよう取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,762	2,708	2,166	542	54

本部町
2,708千円

委託料
1,445千円

備品購入費
1,232千円

役務費
31千円

やんばる和牛改良組合本部支部
1,445千円

うち、交付対象外経費55千円

株式会社Core-Support
396千円

株式会社オカノ
836千円

株式会社Core-Support
31千円

採卵用優良雌牛飼養管理委託

遠隔監視カメラ2台

液体窒素凍結保存容器

遠隔監視カメラ通信費用2台分

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は本事業を円滑に実施できる本町唯一の団体であり、選定は妥当であるとする。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ウ 多様なニーズに対応するフード バリューチェーンの強化	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成28～令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(7)		
事業内容	特産品取扱事業者に対する物産展等への出展支援、販売支援員の配置等を行い、町特産品の販路開拓・拡大を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	13,793	13,794	0	12,323	12,412
		(b) 予算現額	13,393	12,277	0	11,123	12,412
		(c) 増減額 (b-a)	-400	-1,517	0	-1,200	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	13,393	12,277	0	11,123	12,412
	B. 執行済額		12013	11232	0	9,101	10,324
	うち交付金充当額		9610	8985	0	7,281	8,259
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		89.7%	91.5%	#DIV/0!	81.8%	83.2%
予算の状況の説明		減額(2,088千円)については、販売支援員が中途退職し、ハローワークで補充の募集を行ったが、応募者がなく人件費に 余剰が発生。また県外出展予定先が1件中止、物産展等の参画事業者が当初見込みよりも減となったため、直接経費及 び事業者助成金に余剰が発生した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化)	目 標	(もとぶ産品の リスト化)	()	(もとぶ産品の リスト化)	(もとぶ産品の リスト化)	
		実 績	7業者の商品をリス ト化		3業者の商品をリス ト化	8業者の商品をリス ト化	
	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援)	目 標	(PR及び販売 支援)	()	(PR及び販売 支援)	(PR及び販売 支援)	
		実 績	3回支援		4回支援	4回支援	
	・商工会への支援の実施 (町産品活用推進に向けた企画制作の販促支 援)	目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	・商工会への支援の実施 (県内外物産展等への出展支援)	目 標	(出展支援(5 回))	()	(出展支援(5 回))	(出展支援(5 回))	
		実 績	3回支援(県内1、県 外2)		8回支援(県内5、県 外3)	8回支援(県内5、県 外3)	
達成 状 況 説 明	物産展等への出展支援においては8回支援。昨年に引き続き、館岸壁朝市(青森県八戸市)での販売、新たに愛媛県や岐阜 県の物産展に参加し出展支援を行うことで、幅広く、継続的にもとぶ産品のPRを行うことができた。						
新規取引契約数 10件以上	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	目 標		()	()	(10件)	(10件)	()
	実 績				4件	10件	

市町村名	本部町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	テレワーカー人材育成事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(11)-イ		
担当部課名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	令和4～令和6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	多様な働き方の促進と働きやすい環境づくり		
事業内容	テレワーカー人材の育成を図るため、町民を対象にテレワークに関する講習から就労支援までを一体的に実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,885	6,885	0			
		(b) 予算現額	6,884	6,885	0			
		(c) 増減額 (b-a)	-1	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	6,884	6,885	0	0	0	
	B. 執行済額		6884	6885	0			
	うち交付金充当額		5507	5507	0			
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		当初の予定通り事業を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R4年度	R5年度	R6年度		
	テレワークに関する各種セミナーの開催(受講者50名)	目 標	(50人)	(50人)	()	()		
		実 績	56人	52人				
	テレワーカーの就労支援(業務斡旋1人1回ずつ実施)	目 標	(1人1回ずつ実施)	(1人1回ずつ実施)	()	()		
実 績		1人1回ずつ実施	1人1回ずつ実施					
達成状況説明	当初、50人を定員として受講者募集を行ったが、想定以上の応募があったため、定員枠を増やして対応した。幅広い業務の就労支援を実施することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	テレワーカーとして就労した人数(受講者の25%以上)	目 標	()	(25%)	(25%)	()	()	
		実 績		30%	34%			
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗状況説明	受講者52人中、就労支援を受けて収入を得た人数が18人となり、目標の25%以上を達成することができた。就労支援を受けた受講者には、テレワーク業務の仲介プラットフォームに登録してもらい、引き続き業務を受注できる体制を構築した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	在宅ワークの普及に伴い、インターネット環境の整備や雇用形態の変化により、テレワークという就業形態を通して副収入を得たいという人が多くいたことが、成果目標達成の要因と考えられる。	受講者へ継続的なテレワーク業務の受注を行っていき、所得向上や技術向上を図る。
今後の取り組み方針		
より多くの受講者が就労できるよう、受講者のレベルに応じた様々な講習の実施や取り組みやすい業務の受注を検討し、テレワーク人材の育成に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,885</td><td>6,885</td><td>5,507</td><td>1,378</td><td>0</td></tr> </table> 本部町 6,885千円 委託料 6,885千円 株式会社アイボリー 6,885千円 テレワーク講習、業務斡旋支援委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,885	6,885	5,507	1,378	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,885	6,885	5,507	1,378	0										
資金使途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は無く適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	本部町学力向上学習支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	町内小中学校に学習支援員を配置し、主要教科において、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行い、学力の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	74,222	76,410	73,768	82,818	86,849
		(b) 予算現額	74,222	65,327	64,913	76,115	76,230
		(c) 増減額 (b-a)	0	-11,083	-8,855	-6,703	-10,619
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	74,222	65,327	64,913	76,115	76,230
	B. 執行済額		63837	64645	65792	71,155	71,114
	うち交付金充当額		51069	51716	51930	56,924	56,890
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		86.0%	99.0%	101.4%	93.5%	93.3%
予算の状況の説明		予算の減額については、無給休暇等や欠員が生じたことによるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	町立小学校 4校へ配置	目 標	(4校)	(4校)	(4校)	(4校)	
		実 績	4校	4校	4校	4校	
	町立中学校 3校へ配置	目 標	(3校)	(3校)	(3校)	(3校)	
		実 績	3校	3校	3校	3校	
達成状況説明	小学校5校へ19名(学力向上推進教師10名、学習生活支援員9名)、中学校3校へ8名(学力向上推進教師3名、学習生活支援員5名)の支援員配置を行い、授業中の支援、放課後の補習といった学習支援を行い、学力の向上を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -7.7ポイント以上	目 標	()	(-4.9)	(-3.8)	(-7.7)	()
		実 績		-9.4	-9.75	-8.32	
	令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 -4.0ポイント以上	目 標	()	(-4.1)	(-5.4)	(-4.0)	()
		実 績		-4.22	-5.7	-6.1	
	進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査における正答率の県平均と本町との差は、 ・小学校 -8.32ポイント(国語・算数(5～6年)) ・中学校 -6.10ポイント(国語・数学・英語(1～2年)) となり、小学校中学校ともに目標達成に至らなかった。なお、令和5年度の学力到達度調査で実施のあった科目で実績を算出した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和5年度の沖縄県学力到達度調査では、小中ともに目標達成に至らなかった。前年度同様、基礎学力の定着が不十分だったと考えられる。	①担任、学習支援員同士の打ち合わせを適宜実施し、授業内容の改善を図る。 ②学力下位の児童生徒の平均点の底上げが必要である。
今後の取り組み方針		
①学習指導アドバイザーを新たに雇用し、授業内容について助言を行い学習の質の改善を行う。 ②個別学習・補習等により、授業の遅れが見られる児童生徒の苦手意識克服を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>82,188</td><td>71,114</td><td>56,890</td><td>14,224</td><td>11,074</td></tr></table> 本部町 71,114千円 報酬 46,029千円 職員手当等 11,234千円 共済費 9,510千円 旅費 1,304千円 使用料 3,037千円 学推教師及び支援員 46,029千円 学推教師及び支援員 (会計年度任用職員延べ30人) (会計年度任用職員延べ28人) (会計年度任用職員延べ31人) 学推教師及び支援員 1,304千円 学推教師及び支援員 1,304千円 (会計年度任用職員延べ27人) トラストコミュニケーション株式会社 3,037千円 (学習支援アプリ)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	82,188	71,114	56,890	14,224	11,074
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
82,188	71,114	56,890	14,224	11,074										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援員の雇用は条例、規則に則りなされており妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学習支援アプリは入れを行い契約した。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○休暇・欠員に伴う補正減や不用額が生じているが、予算規模は事業内容に見合った適正な規模である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途の必要性及び執行状況を確認しており適正である。											

市町村名	本部町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	特別支援教育環境充実事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－5－(2)－エ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成28年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	特別な支援を要する園児児童生徒に対し、特別支援教育支援員等を配置し、学校生活や学習支援上の困難の改善を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,703	20,652	21,769	28,573	28,631
		(b) 予算現額	15,885	19,423	21,382	25,580	27,301
		(c) 増減額(b-a)	-2,818	-1,229	-387	-2,993	-1,330
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	15,885	19,423	21,382	25,580	27,301
	B. 執行済額		15885	19309	21639	25,032	25,554
	うち交付金充当額		12708	15447	17105	20,025	20,443
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.4%	101.2%	97.9%	93.6%
予算の状況の説明		予算の減額については、無給休暇等や欠員が生じたことによるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	特別支援教育支援員 9名配置	目 標	(小学校1名 幼稚園7名)	(小学校1名 幼稚園7名)	(中学校1名 幼稚園8名)	(中学校1名 幼稚園8名)	
		実 績	小学校1名 幼稚園7名	小学校1名 幼稚園7名	中学校1名 幼稚園8名	中学校1名 幼稚園7名	
	スクールソーシャルワーカー 2名配置	目 標	(2名)	(2名)	(2名)	(2名)	
		実 績	2名	2名	2名	2名	
達成状況説明	・本部中学校1名、本部幼稚園5名、上本部幼稚園1名、瀬底幼稚園1名の計8名を配置した。 ・各支援員が、支援を要する園児児童に対し、校長、教頭、学級担任等と支援検討を行いながら対応した。 ・スクールソーシャルワーカーを2名雇用し、各学校を巡回しながら支援を要する園児児童生徒及び家庭の情報を収集し、支援にあたった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		92%	86%	86%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進捗状況説明	保護者に対するアンケートによる検証を行った結果、「特別な支援が必要な子どもに対し、丁寧な支援を行っているか」との設問に86%の保護者から肯定的な回答を得た。 アンケートの結果から、支援を要する園児児童に対する活動において、保護者から高い評価を得ていることが確認できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は特別な支援を要する子ども達への理解やSSWの面談等について保護者から高い評価を得ており、支援員が適切な支援をできたと考えられる。満足度の維持のため、引き続き支援員間の情報交換や研修会を開催し、スキルアップを図る。	学校が、児童生徒の家庭状況を把握するためスクールソーシャルワーカーとの連携・情報交換が重要である。
今後の取り組み方針		
保護者のニーズに幅広く対応するため、スクールソーシャルワーカーを1名増員し、更なる満足度の向上を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27,100</td><td>25,554</td><td>20,443</td><td>5,111</td><td>1,546</td></tr> </tbody> </table> 本部町 25,554千円 報酬 18,193千円 特別支援教育支援員及びスクールソーシャルワーカー 18,193千円 （会計年度任用職員延べ11人） 職員手当等 3,874千円 特別支援教育支援員及びスクールソーシャルワーカー 3,874千円 （会計年度任用職員延べ11人） 共済費 3,254千円 公立学校共済組合 1,149千円 （会計年度任用職員延べ11人） 厚生労働省年金局 2,105千円 （会計年度任用職員延べ11人） 旅費 233千円 特別支援教育支援員及びスクールソーシャルワーカー 233千円 （会計年度任用職員延べ6人）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	27,100	25,554	20,443	5,111	1,546
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
27,100	25,554	20,443	5,111	1,546										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員及びSSWの雇用は、条例及び規則に基づき実施している。 ○雇用実績に伴う補正減があるものの、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。 ○費用・使途については、出勤日数、休暇処理、日給、保険料計算のための月額報酬等を確認の上、目的に即した必要な支出であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③	本部っ子短期留学チャレンジ事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成27～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交流基盤としてのウチナーネット ワークの継承・発展			
	Ⅲ-3-(1)							
事業内容	町内の中高生を英語圏(アメリカ・ワシントン州)へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野をもつ人材を育成する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			～R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	31,445	0	0	0	12,645	
		(b) 予算現額	30,875	0	0	0	12,645	
		(c) 増減額(b-a)	-570	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	30,875	0	0	0	12,645	
	B. 執行済額		30559	0	0	0	12,645	
	うち交付金充当額		24447	0	0	0	10,116	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		99.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
予算の状況の説明		当初の計画通り派遣事業を実施することができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(3週間) または県内での宿泊英語学習		目 標	(短期間派遣)	(短期間派遣)	(短期間派遣)	(短期間派遣)	
			実 績	コロナの影響により 派遣中止	コロナの影響により 派遣中止	コロナの影響により 派遣中止	短期間派遣	
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成 状 況 説 明	高校生8名、中学生7名の計15名をアメリカ合衆国(ワシントン州)へ、令和5年7月13日から令和5年8月2日の短期間派遣することができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が 広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアン ケートにより、本事業のあり方を検証する		目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実 績		コロナの影響に より派遣中止	コロナの影響に より派遣中止	93%	
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
	進 捗 状 況 説 明	帰国後、保護者を対象にアンケート調査を実施し、「生徒の国際的な視野がより広まったと感じた」との回答が93%であった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・新型コロナ下での派遣中止を経ての事業実施のため、令和元年度と比較し応募者も増加し、派遣生の中には長期留学への参加を検討している生徒もあり、生徒の国際的な視野の拡大につながっている。 ・生徒アンケートより留学の期間を長期化してほしいとの回答が多数あった。	・現地の学生との交流の機会があれば良かった。ホームステイの期間の長期化を要望する声があったため、留学内容の検討を行う必要がある。 ・選考結果通知から派遣開始までの研修について回数を増やしてほしいとの声があったため、事前研修の内容や回数について検討を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・現地学生との交流や、ホームステイの期間の検討について、受け入れ団体と協議し対応の可否について可能かどうかを検討し、改善を図る。 ・事前研修の実施内容及び回数について、生徒アンケートの分析による研修内容の見直しや、回数増の可否について日程的に可能かどうかを検討し、事業効果を最大限発揮できるよう改善を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>15,810</td><td>12,645</td><td>10,116</td><td>2,529</td><td>3,165</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,810	12,645	10,116	2,529	3,165
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,810	12,645	10,116	2,529	3,165										
本部町 12,645千円 補助金 12,645千円 個人(15名) 12,645千円														
資金の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選考方法については、学校長からの推薦がある生徒を選考審査会にて審査しており、妥当であった。 ○予算執行率は100%であり、事業内容に見合った適正な規模であった。 ○受益者である派遣生は、派遣費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から妥当であると判断した。 ○費目、使途について額の確定時において確認を行い、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												